

令和 6 年度

教育行政重点施策



4年ぶりの開催「市民体育祭」（令和5年10月1日）

井原市教育委員会

1 施策の体系

基本理念

将来像

輝くひと 未来創造都市 いばら

- ④ みんなでまちをつくっています
- ③ 豊かな資源を大切にし、創造・発展・発信しています
- ② 故郷を愛し、やさしい人が育っています
- ① 安全・安心・健康・便利なくらしができています

- ↑すいしんの視点
- ↑ゆたかさの視点
- ↑こころの視点
- ↑くらしの視点

将来像実現のため、政策分野ごとに基本目標を設定します



目 次

井原市第7次総合計画後期基本計画 施策の体系図

I 基本方針	1
II 施策の体系	2
III 重点施策	
よりよい学校教育により よりよい社会を創る	3
心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習	10
個性ある地域文化を育むまちづくり	17
スポーツの力でつくる ひととまち	21
教育施設・設備の整備と機能の充実	26
〈参考〉教育関係予算の概要	28
令和6年度児童・生徒数見込み	31

井原市民憲章

S43.4.1 制定

わたくしたちは、緑の山と小田川の清流に恵まれて豊かに育った井原市民です。
山陽道に沿って、早くから文教が興り、産業の栄えたわたくしたちのまちは、今やたくましい足どりで、瀬戸内圏の輝くあすへ大きく前進しています。
わたくしたちは、先人ののこしてくれたこの郷土を、強い自覚と責任をもって、次の世代へ伝えるに足る誇り高い井原市とするために、こぞって力をあわせましょう。

- 1 健康に輝く、清潔な町をつくりましょう。
- 1 働くことに喜びをもち、生産の意欲あふれる町をつくりましょう。
- 1 お互いの立場を尊び、秩序正しい町をつくりましょう。
- 1 子どものしあわせをはぐくみ、夢と希望にみちた町をつくりましょう。
- 1 教養を深め、文化の香り高い町をつくりましょう。

I 基本方針

本市では、平成30年度からスタートした「井原市第7次総合計画」に基づき、「輝くひと 未来創造都市 いばら」の実現に向け、各種施策に取り組んでおります。

令和6年度は、第7次総合計画後期基本計画の2年目の年であり、教育委員会においては、引き続き、教育分野での基本目標である「伝統、文化が引き継がれ、郷土を愛する人が育まれるまちづくり」の実現に向けて、各種施策を実施してまいります。

学校教育の充実については、グローバル化の進展や人工知能の進化、情報機器の発達による人間関係の希薄化など、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する中、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく能力の育成が求められています。本市では、教職員の指導力の向上や社会に開かれた教育課程の実現を図り、子ども一人ひとりの確かな学力を育成し、可能性を伸ばすとともに、子どもの主体性や社会性、自立心、創造力などを育む教育を進めながら、ふるさと井原の未来を創る子どもたちを育てます。

また、人間関係の希薄化に起因する家庭や地域の教育力の低下などを背景として、不登校・いじめ・非行、生活習慣や食習慣の乱れに起因する諸問題への対応が大きな課題となっていることから、指導・相談体制の充実に努めるとともに、学校・家庭・地域の連携強化を図ります。

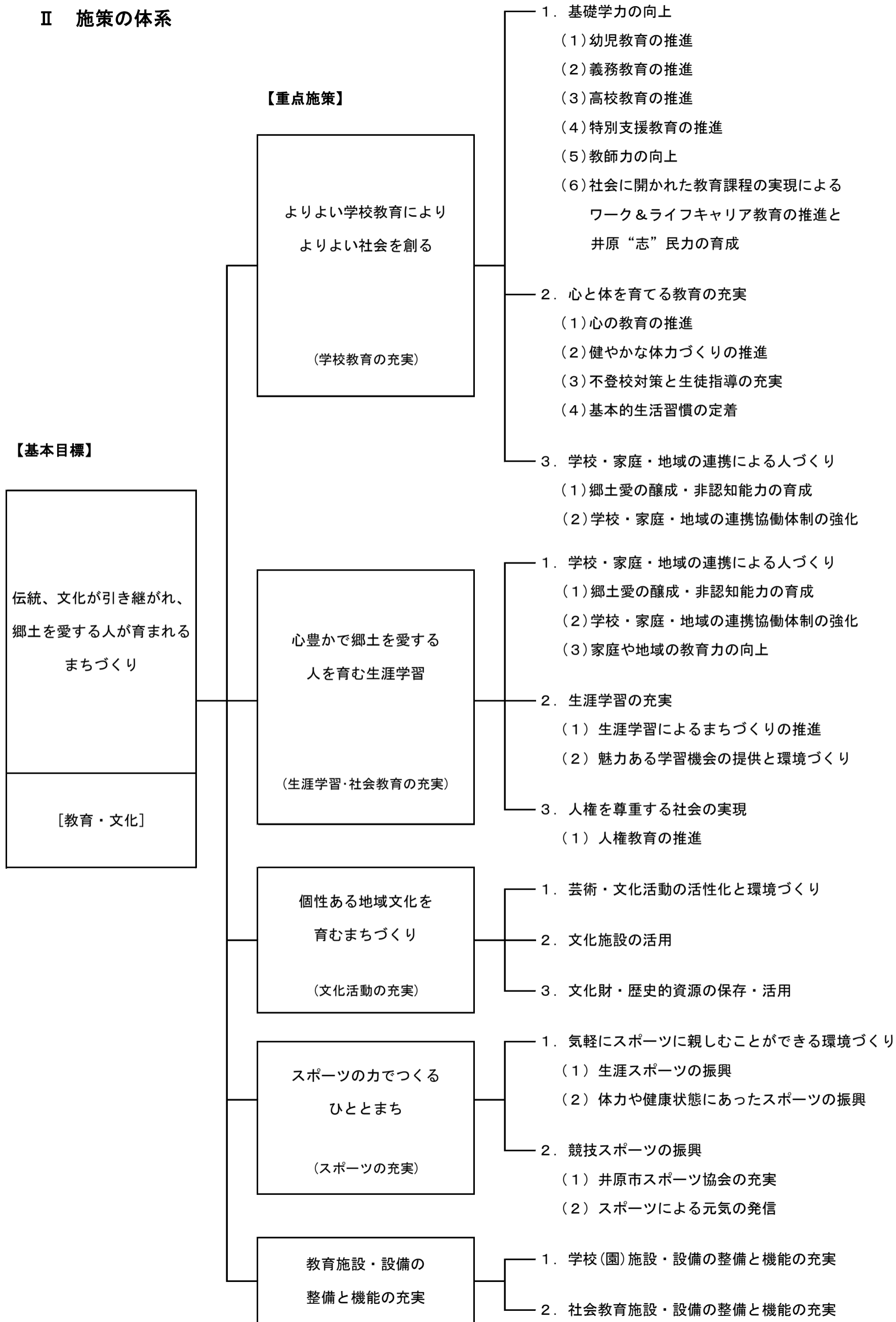
生涯学習の充実については、まちづくりの基本はひとつづくりであるにとらえ、自己の充実や啓発に向けて学ぶとともに、地域の魅力拡大や課題解決に参画する意欲を高めるなど、持続可能な地域づくりの担い手となる人材を育成するために必要な学習環境や学習機会の充実を図ります。

文化活動の充実については、市民が生涯にわたって豊かな情操を養い、潤いのある生活を築き、個性ある地域文化を創造するため、平櫛田中美術館をはじめとする文化施設を活用し、優れた芸術・文化にふれあう機会を拡充するとともに、20年ぶりに里帰りした平櫛田中の代表作「鏡獅子」の効果的な活用や特別展などの開催、市民ギャラリーの利用促進を図り、市民や市外からの来館者が集う芸術・文化拠点としての機能の充実に努めます。

スポーツの充実については、子どもから高齢者まで、市民のニーズに合った生涯スポーツや健康づくり・体力づくり・仲間づくりとしてのスポーツを振興します。

なお、教育関連の施策の実施にあたっては、「井原市教育大綱」（令和5年2月策定）や、「第四期井原市教育審議会答申」（平成29年10月答申）、「井原市就学前教育検討委員会答申」（令和2年3月答申）を踏まえて、本市の教育行政の振興、発展に向けた取り組みを積極的かつ着実に進めることとします。

II 施策の体系



Ⅲ 重点施策

よりよい学校教育により よりよい社会を創る

(学校教育の充実)

令和6年度
井原市教育行政重点施策(学校教育課)構想図

ふるさと井原の未来を創るひとづくり

- ・幼児教育の充実 ・保幼小接続事業
- ・授業改善(主体的・対話的で深い学び)
- ・若手・中堅教員研修の充実
- ・きめ細かな指導
- ・一人一台端末の活用
- ・デジタル教科書の活用
- ・主体的な学びの基盤づくり事業
- ・英語・道徳の教科化に対応した研修
- ・グローバル人材育成事業
- ・ALTを活用した英語授業の充実

- ・井原市学校教育研究会研修事業
- ・高校教育の充実
- ・片山科学賞基金運営事業
- ・いばらっ子伸びる学力支援事業
- ・いばらっ子イノベーション35推進事業
- ・研究指定校(大江幼・西江原小・美星中)
- ・特別支援教育の充実(学習支援員配置)
- ・ワーク&ライフキャリア教育の推進と井原“志”民力の育成
- ・地域と学校の連携・協働によるひとづくりネットワーク構築事業

基礎学力の向上

認め合い高めあう

- ・ふるさと井原魅力発見事業(美術館・まほろば館・天文台見学)
- ・スポーツふれあい交流事業「夢の教室」
- ・落ち着いた学級づくり支援事業(Web QU)
- ・不登校児童生徒対策事業
- ・ネットとスマホの利用改善の推進

人間関係づくり

- ・体力づくり推進事業
- ・健康づくり優良児童生徒表彰
- ・いばらっ子生活リズム向上プロジェクト
- ・防災教育の推進
- ・家族でパクパク食育教室

- ・学びに向かう力・人間性等の涵養
- ・生きて働く知識・技能の習得
- ・思考力・判断力・表現力等の育成

確かな学力

豊かな心

健やかな体

- ・自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心
- ・規範意識、道徳性
- ・郷土を愛する心

- ・たくましく生きるための健康や体力
- ・食育の推進
- ・心身の健康の保持増進

指標
不登校児童生徒、問題行動の減少

指標
全国学力・学習調査結果の改善

心と体を育てる教育の充実・郷土愛の醸成

体験活動 ⇄ 自己実現 ⇄ 言語活動

社会に開かれた教育課程の実現

- 社会に開かれ、地域とともにある学校づくり
- 学校・家庭・地域の連携による人づくり
- ※ 学校運営協議会 学校評議員会

『よりよい学校教育により よりよい社会を創る』理念の共有

よりよい学校教育により よりよい社会を創る
(学校教育の充実)

学校、家庭及び地域社会、関係諸機関との信頼に基づく連携・協働のもとに、ふるさと井原の未来を創る子どもたちに、生きて働く知識・技能の習得や未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等（認知能力）の育成はもちろんのこと、学んだことを社会や人生に活かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養（非認知能力）を促す教育を推進する。そのために「ワーク&ライフキャリア教育」の推進による「学力」及び「井原“志”民力」の向上、「いじめ・不登校等の問題の解決に向けた取組」の充実を図る。

確かな学力の育成については、小学校において35人以下学級を継続させ、言語活動の充実、きめ細かな指導、教職員研修の充実を図るとともに、全小中学校において主体的な学びの基盤づくり事業（旧「放課後学習サポート事業」）を継続するとともに、実態に応じた地域での学習支援活動を実施する。また、就学前からの教育を連続した学びにするため、保幼小中高の連携充実を図る。

豊かな心の育成については、人権尊重の精神を根底とし、総合的な学習の時間や道徳教育、読書活動、特別活動等の中で、体験活動（地域学校協働活動を含む）を通して、子どもの規範意識や郷土愛を育む教育を進める。また、いじめ・不登校等の問題の解決に向けて、専門家や関係機関との連携を強化し、相談体制の充実を目指す。

健やかな体の育成については、体育の授業の充実とともに、健康・安全教育や食育の推進を図り、心身共に健康な幼児・児童・生徒の育成を図る。

また、保護者や地域の方々が学校経営に参画することにより、目標やビジョンを共有し、社会総がかりで子どもたちの健全育成や学校運営の改善に取り組む学校運営協議会を設置、推進する。

以上のような取組により、学校、家庭及び地域社会、関係諸機関との信頼に基づく連携・協働のもと「社会に開かれ、地域とともにある学校づくり」と「学校・家庭・地域の連携・協働による人づくり」を促進する基盤となる社会に開かれた教育課程を実現し、新学習指導要領に示された『よりよい学校教育により よりよい社会を創る』という理念のもと、『ふるさと井原の未来を創るひとづくり』を目指す。

施 策	内 容
1. 基礎学力の向上 (1) 幼児教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園教育要領に基づく保育実践の充実 ○幼稚園教職員研修の充実 ○幼稚園における預かり保育の充実と家庭教育力の向上 ○保幼小接続事業 ○非認知能力育成プログラムの開発・導入* ○他園交流の推進

<p>(2) 義務教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○いばらっ子伸びる学力支援事業 (非常勤講師8人配置、小1支援員配置) ○小規模校学習支援活動 ○全国学力・学習状況調査の実施 ○学力向上対策事業 ○一人一台端末を中心とするICT機器を活用した教育活動の充実 ○デジタル教科書の活用推進 ○英語授業の充実(ALT8人の活用) ○グローバル人材育成事業 英語検定料補助金 ○主体的な学びの基盤づくり事業(旧「放課後学習サポート事業」)(13小学校、5中学校) ○片山科学賞基金運営事業
<p>(3) 高校教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の充実* ○各種検定・資格の取得推進 ○主権者教育の推進 ○消費者教育の推進 ○一人一台のタブレット端末を中心とするICT機器を活用した教育活動の充実
<p>(4) 特別支援教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習支援員の活用(42人) ○巡回相談員の配置と活用(1人)
<p>(5) 教師力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○若手・中堅教員研修の充実 ○ICT活用研修の充実 ○研究指定校による研究発表会 (大江幼、西江原小、美星中) ○井原市学校教育研究会研修事業の実施 ○定期及び要請による学校訪問 (岡山型学習指導のスタンダードの徹底) ○ICT支援員の活用 ○教師業務アシスタント配置(常勤6校、兼務12校) (常勤)西江原小・出部小・井原中・井原小・高屋中・木之子中 ○教育ネットワークの活用促進 ○校務支援ソフトの活用促進

(6) 社会に開かれた教育課程の実現によるワーク&ライフキャリア教育の推進と井原“志”民力の育成

○地域と学校の連携・協働によるひとづくりネットワーク構築事業の推進※

- ・各学校区ひとづくりネットワーク運営協議会の設置
- ・ひとづくりネットワーク懇談会の開催
- ・めざす子ども像・地域像の共有による地域学校協働活動の充実

○「ふるさと教育」「起業家教育」の視点を入れたカリキュラム・マネジメントの推進※

- ・総合的な学習（探究）の時間の見直し・充実
- ・共通探究課題・素材の設定
- ・井原“志”民カルーブリックの設定・活用

※ルーブリック…学習目標などの達成度を「評価の観点」と観点の尺度を数段階に分けて文書で示した「評価の基準」により評価すること

○「非認知能力」育成プログラムの導入※

- ・井原市版プログラムの開発・導入
- ・非認知能力及びプログラム導入に係る研修会の実施例) aeru school、Ancsプログラム 等

※aeru school井原版…日本各地の豊かな文化や伝統、産業に親しみ“ホンモノ”に触れることで、日本やその地域への理解を進めるとともに、「感じる力」「観察する力」「言語化する力」をはじめとする非認知能力を育成するプログラム。本市においては、全幼稚園において『井原デニム』を取り上げ、遊びの中での関わりや物づくりの機会を設定。

※Ancsプログラム…アクティブラーナー (Active learner) を育てる非認知能力 (non cognitive skills) 向上プログラムの意。ゲストとして招聘した地域で活躍する大人たちの話や回りの友達の考えも参考にしながら、自分の良さを見つめ直したり、自分がこれからどうしていきたいか考えたりする中で、モチベーションアップを図るプログラム。本市においては、原則として全小学6年生で実施するとともに、希望する中学校、高校においても実施可能。

○ワーク&ライフキャリア教育の充実（中1パスカード、中2ワーク&ライフ職場体験、中3高校調べ、キャリア・パスポートいばら版の活用）※

<p>2. 心と体を育てる教育の充実</p> <p>(1) 心の教育の推進</p> <p>(2) 健やかな体づくりの推進</p> <p>(3) 不登校対策と生徒指導の充実</p> <p>(4) 基本的生活習慣の定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域教材を活用した道徳教育の推進 ○学校司書の配置と読書活動の推進 ○人権教育担当者研修会の開催 ○情報モラルに関する指導の充実 ○体験活動の充実（地域学校協働活動を含む）※ <ul style="list-style-type: none"> ○体づくり推進事業 ○健康づくり優良児童生徒表彰 ○いばらっ子生活リズム向上プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ○不登校児童生徒の適応指導対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー配置事業 ・スクールサポーター配置事業（中学校） ・訪問カウンセリング事業 ・問題行動対策コーディネーター配置事業 ・登校支援員・別室指導員配置事業 ・不登校対策実践研究事業 ・不登校対策別室指導実践研究 ○落ち着いた学級づくり支援事業の充実 ○ネットとスマホの利用改善の推進 ○いじめ問題対策連絡協議会の開催 ○児童虐待の防止 <ul style="list-style-type: none"> ・井原市要保護児童対策地域協議会との連携 ○ヤングケアラーへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ○いばらっ子生活リズム向上プロジェクト（再掲） ○防災教育の推進 ○交通安全教育の充実 ○防犯意識の高揚と啓発活動 ○薬物乱用防止教育等の推進 ○栄養教諭による食育の推進 ○学校給食における食物アレルギーへの対応 ○食育講座の開催
---	---

<p>3. 学校・家庭・地域の連携による人づくり</p> <p>(1) 郷土愛の醸成・非認知能力の育成</p> <p>(2) 学校・家庭・地域の連携協働体制の強化</p>	<p>○ふるさと井原魅力発見事業※ 【未来を担うひとづくり推進事業④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小6 平櫛田中美術館・古代まほろば館見学 ・小4 美星天文台・デニム工場見学等 <p>○スポーツふれあい交流事業「夢の教室」※（小5） 【未来を担うひとづくり推進事業③】</p> <p>○地域と学校の連携・協働によるひとづくりネットワーク構築事業の推進による地域学校協働活動の充実※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での学習支援活動※ ・学校支援ボランティアの活用※ <p>○ワーク&ライフ職場体験及びインターンシップ等の実施</p> <p>○学校運営協議会の設置 （R6 導入校 大江小、稲倉小、県主小、木之子小、青野小、井原小、出部小、美星小、木之子中、井原中、美星中）</p> <p>○部活動の地域移行の推進</p> <p>○教育広報紙（ともなび）の発刊</p> <p>○学校ホームページの充実</p>
--	---

※表内※は「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」【未来を担うひとづくり推進事業①】との関連事業

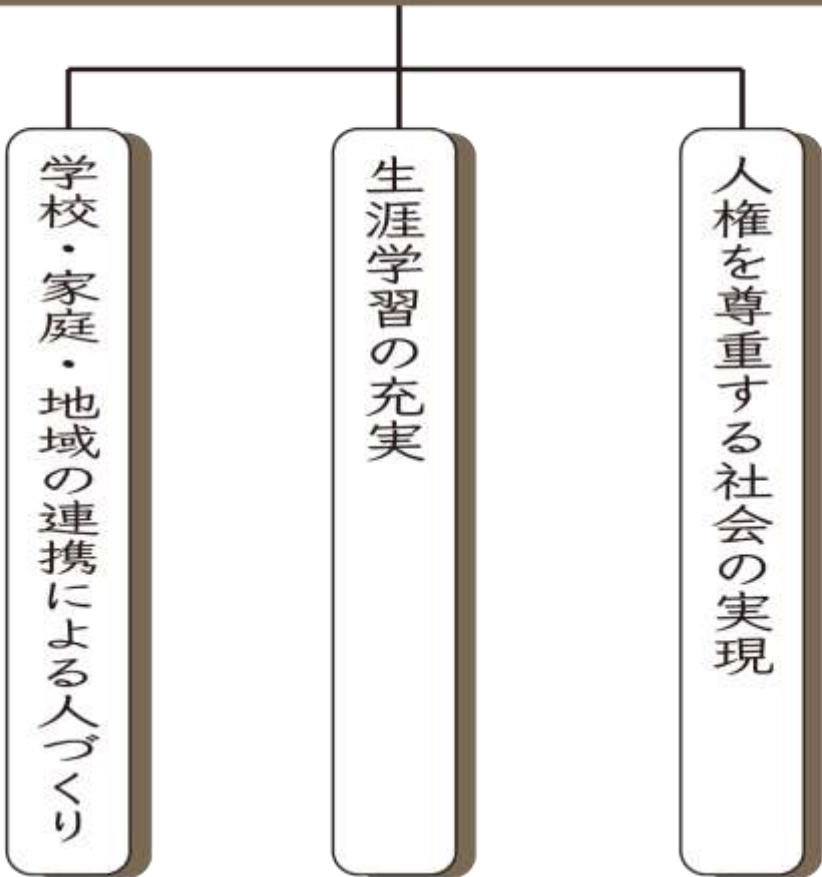
心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習

(生涯学習・社会教育の充実)

井原市の生涯学習

心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習
【生涯学習・社会教育の充実】

伝統、文化が引き継がれ、郷土を愛する人が育まれるまちづくり



人づくり
自主的・自発的な学びによる知的欲求の充足、自己実現・成長

つながりづくり
住民の相互学習を通じ、つながり意識や住民同士の絆の強化

学びと活動の好循環

地域づくり
地域に対する愛着や帰属意識、地域の将来像を考え取り組む意欲の喚起
住民の主体的参画による地域課題解決

心豊かで郷土を愛する人を育む生涯学習 (生涯学習・社会教育の充実)

第3次生涯学習基本構想・基本計画に基づき、学習のきっかけづくりや学習機会の拡充、人材の育成や人材活用機会の拡充、学校、家庭、地域の連携や地域コミュニティの推進に重点を置いた施策の推進を図りながら、中央教育審議会の答申にあるように多様化・複雑化する課題と社会の変化に対応した持続可能な地域づくりに向け、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に主眼をおいた社会教育事業を展開できるよう時代に合った取り組みを進めていく。

新たな市民の学習ニーズの把握に努め、ライフステージに応じた生涯学習の普及啓発を図るとともに、地域課題解決型の講座を取り入れる等、講座内容を精選・工夫して展開する。また、子どもたちが、心身ともに健やかに成長していけるよう家庭教育に関する学習課題や、人権問題や高度情報化等にもなう現代的課題に適切に対応していくために、市民が気軽に参加できる講座等の充実を図る。

『ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業』については、既存事業との整理・統合を進めつつ、庁内関係各課及び関係諸団体と連携を深めることで効果的な事業展開を図り、地域と学校の連携・協働による「井原“志”民」の育成と「志縁コミュニティ」の形成を促進する。

また、公民館や生涯学習関連施設の計画的な整備・充実を図るとともに、地域住民が気軽に集い、学びながら交流できる開かれた公民館や学習施設を目指す。その際、公民館講座利用者や地域の公共的団体と共催して講座を企画・実施する等して、公民館において、学びの輪、人と人とのつながりが一層広がるよう留意する。

市民と行政が協働でまちづくりを進めていくために開催している「いきいきいばら出前講座」の充実や「まなびめいと」の活動支援に引き続き取り組む。また、学校、家庭、地域の連携強化を図り、協働して人材の育成に取り組む。

※『ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業』関連事業については、令和2年度より「未来を担うひとづくり推進事業費」（教育費[款]—社会教育費[項]—未来を担うひとづくり推進事業費[目]）内事業として整理・統合を進めている。なお、目内に内包する事業については【未来を担うひとづくり推進事業①～⑥】と明示して関連を示している。

※「未来を担うひとづくり推進事業費（目）」全体構想は次頁参照

教育費（款）－社会教育費（項）

「未来を担うひとづくり推進事業」内事業一覧（R6）

テ

【未来を担うひとづくり推進事業①】（R1～）

ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業（生涯学習課）

柱1）ひとづくりのまち「井原」の発信

夢&志づくり応援Laboratory「ゆめここ☆ラボ@井原」（R3～ ※R4見直し ※R5再見直し）
含）井原“志”民塾（R4～） ふるさと井原魅力化団体「Team夢源♡井原」（R2～）

柱2）社会に開かれた教育課程の実現

コミュニティ・スクールの導入（R4～）

柱3）地域社会・企業との連携

地域と学校の連携・協働によるひとづくりネットワーク構築事業（R2～）

基盤） 地域とともにある学校づくり推進事業 + 地域学校協働活動本部事業

統合） 地域土曜学習サポート事業

…R2より並列事業として目内に整理
R3より事業を「ひとづくりネットワーク構築事業」に統合し、「地域による学習支援活動」として地域学校協働活動に位置づけて実施

チャレンジワーク14

…R2より予算を「ひとづくりネットワーク構築事業」に統合し、「ワーク&ライフ職域体験」として地域学校協働活動に位置づけて実施

連携） 放課後子ども教室推進事業

…R2より並列事業として目内に整理
R3より事業を「ひとづくりネットワーク構築事業」に統合し、地域学校協働活動の一環として実施するが、予算は県補助事業として別途要求

青少年健全育成活動事業

…R4より「ひとづくりネットワーク構築事業」の関連事業として位置づけ、地域学校協働活動の一環として実施するが、予算は社会教育総務課内で別途要求

柱4）高校・大学との連携

岡山大学教養教育科目『地域の未来デザイン』（R2～）

柱5）家庭教育の支援

家庭教育支援総合推進事業（R5～）

柱6）読書活動の推進

子ども読書推進事業（R5～）

【未来を担うひとづくり推進事業②】（R2～）

放課後子ども教室推進事業（生涯学習課）

【未来を担うひとづくり推進事業③】（R2～）

スポーツふれあい交流事業「夢の教室」（学校教育課）

【未来を担うひとづくり推進事業④】（R3～）

ふるさと井原魅力発見事業（学校教育課）

テ

【未来を担うひとづくり推進事業⑤】（R3～）

いばら就職支援事業（商工課）

【未来を担うひとづくり推進事業⑥】（R6～）

特

地域力創造アドバイザー活用によるブランディング事業（生涯学習課）

テ …デジタル田園都市国家構想交付金交付対象事業（地方創生推進タイプ）
[R4～3+2カ年予定]

特 …特別交付税措置[R6～3カ年予定]
外部専門家（地域力創造アドバイザー）制度

施 策	内 容
<p>1. 学校・家庭・地域の連携による人づくり</p> <p>(1) 郷土愛の醸成・非認知能力の育成</p>	<p>【未来を担うひとづくり推進事業①】</p> <p>○ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業</p> <p>柱1) ひとづくりのまち「井原」の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「井原市ひとづくり推進本部」「井原市ひとづくり実行委員会」の開催 ・ひとづくりアドバイザーを招聘して研修会等の開催 ・井原“志”民力実態調査の実施 ・夢&志づくり応援 Laboratory『ゆめここ☆ラボ@井原』の組織化 <ul style="list-style-type: none"> * 井原“志”民塾・公開講座 * 井原市公認ふるさと井原魅力化団体「Team 夢源♡井原」 <ul style="list-style-type: none"> 中高生=夢源 Makers、 一 般=夢源 Supporters * 地域キャスト「井原 Lovers」等 * ふるさと井原 “夢&志” アクション助成 <p>柱2) 社会に開かれた教育課程の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れたカリキュラムマネジメント研修の開催 ・「ワーク&ライフ職場体験」の充実 ・「非認知能力」育成プログラムの導入 <p>柱3) 地域社会・企業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の連携・協働によるひとづくりネットワーク構築事業（地域学校協働本部事業を含む） ・ひとづくり関係人口の拡大 ・地元企業・事業所との連携による地場産業魅力発信プログラムの開発・導入 <p>柱4) 高等学校・大学との連携促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内3高等学校の連携促進・魅力化支援 ・大学との連携促進（連携協定締結を含む） <p>柱5) 家庭教育の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> * 学校園、公民館、子育て支援課、健康医療課及び市民ボランティア等との連携・協力（井原子育てネットワーク協議会） ・子育てに関する学習機会の拡充 <ul style="list-style-type: none"> * 子育て各期における課題別子育て講座の開催

(2) 学校・家庭・地域の連携協働体制の強化

*親育ち応援学習プログラムの活用と推進

*子育てイベントの実施

*家庭教育学級（中央・各地区）、幼児教育学級、婦人学級等の支援

いばらっ子生活リズム向上プロジェクトとの連携

柱6) 読書活動の推進

・第4次子ども読書活動推進計画に基づく事業の推進

*絵本づくり講座の開催

*読み聞かせボランティア養成講座の開催

*年齢別絵本ガイドの活用

*ブックスタート・セカンドブック事業の実施

・**臨**第5次子ども読書活動推進計画の策定

【未来を担うひとづくり推進事業①】

柱2) 社会に開かれた教育課程の実現（再掲）

柱3) 地域社会・企業との連携（再掲）

柱4) 高校・大学との連携（再掲）

柱5) 家庭教育の支援（再掲）

【未来を担うひとづくり推進事業②】

○放課後子ども教室事業の実施

【未来を担うひとづくり推進事業⑥】

○**新**地域力創造アドバイザー活用によるブランディング事業の実施

○井原市連合少年団協議会の活動支援

・デイキャンプ、少年レクリエーション大会等

○美星っ子づくり協議会の活動支援

○友好親善都市児童交流事業（魚津市訪問・大田原市歓迎）の実施

○二十歳のつどいの実施

○地区青少年を育てる会等の活動支援

○青少年育成センター事業、教育相談室事業の推進

○**臨**岡山県少年補導（育成）関係者研修会の実施

(3) 家庭や地域の教育力の向上

【未来を担うひとづくり推進事業①】

柱5) 家庭教育の支援（再掲）

柱6) 読書活動の推進（再掲）

<p>2. 生涯学習の充実</p> <p>(1) 生涯学習によるまちづくりの推進</p> <p>(2) 魅力ある学習機会の提供と環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習推進本部の機能の充実 ○生涯学習関連事業の把握と総合的な推進 ○学習情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ガイド「まなびすと」や子ども情報紙「でんしょぼと」の発行 ○計画的な社会教育主事（社会教育士）の育成 ○成人大学講座の開設 ○高齢者学級の開催 <ul style="list-style-type: none"> （寿大学院、芳寿大学、美星長寿学級、むつみ会） ○図書館蔵書の充実と図書館の利用促進 ○地域の特徴を生かした開かれた公民館活動の推進 ○パソコン講座等の支援 <ul style="list-style-type: none"> （貸出用パソコンの活用） ○青少年団体等の指導者育成 <ul style="list-style-type: none"> （PTA指導者研修会） ○生涯学習の成果発表の機会づくり <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の集いまなびフェスタ in いばら、文化祭等の開催（作品展示、体験講座、舞台発表等） ○芳井生涯学習センター文化講演会の開催 ○芳井生涯学習センターコンサート事業の実施（隔年） ○優秀映画鑑賞会、子ども映画会の実施 ○人材活用の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・びんご人材ネットワーク「まなびんご」の活用 ○民間団体等との協働による事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブライフ井原まなびめいと（少年少女合唱団・ジュニア弦楽合奏団）の活動支援 ○いきいきいばら出前講座の実施
<p>3. 人権を尊重する社会の実現</p> <p>(1) 人権教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○くらしと人権講座の開催 ○諸学級、諸団体等での人権学習・人権啓発活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> （PTA、地区、企業等） ○市長部局との連携による人権教育、啓発活動、男女共同参画社会づくりの推進 ○井原市ふれあいセンターでの交流活動等の推進

個性ある地域文化を育むまちづくり

(文化活動の充実)

井原市の文化

個性ある地域文化を育むまちづくり

文化活動の充実

芸術・文化活動の 活性化と環境づくり

- 『鏡獅子』の活用
- 平櫛田中美術館の特別展・企画展の開催
- 芸術・文化団体の育成・支援
- 文化協会 70 周年記念事業の支援
- 文化祭・各種文化発表会の開催支援
- 芸術・文化イベントの企画・開催
- 文化部活動の地域移行の推進

文化施設の活用

- 平櫛田中美術館・市民ギャラリー・田中苑の維持管理と利用促進
- 文化施設の維持管理と利用促進

文化財・歴史的資源の 保存・活用

- 文化財センターの活用と各種講座の開催
- 芳井歴史民俗資料館特別展・企画展の開催
- 歴史・文化遺産の情報発信
- 郷土偉人の伝承
- 伝統芸能の保存・継承

個性ある地域文化を育むまちづくり

(文化スポーツ課・平櫛田中美術館の施策)

市民が生涯にわたって豊かな情操を養い、潤いのある生活を築き、個性ある地域文化を創造するため、優れた芸術・文化にふれあう機会を拡充するとともに、芸術・文化団体の育成を図るなど、市民の芸術・文化活動を促進する。

また、平櫛田中美術館において20年ぶりに里帰りした平櫛田中の代表作「鏡獅子」の効果的な活用や特別展「平櫛田中の芸術展」の開催や企画展、ワークショップの開催、市民ギャラリーの利用促進を図ることにより、市民や市外からの来館者が集う新たな芸術・文化拠点となるよう事業を進める。

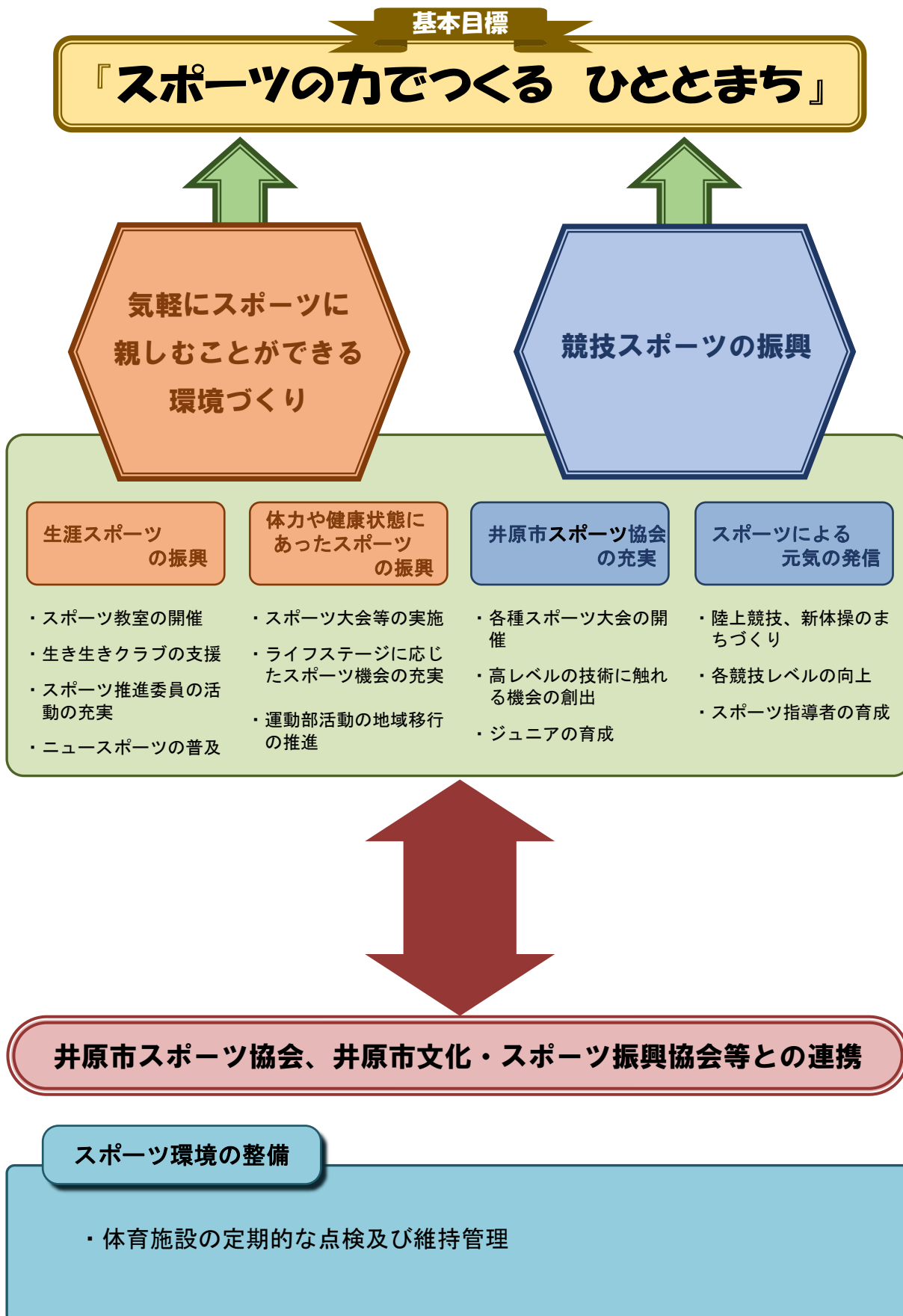
さらに、あらゆる文化財の保存を計画的に進め、地域に残された文化遺産を情報発信することにより、市民の理解を深めるとともに、文化財保護意識と郷土愛を育み、先人が守り伝えた文化遺産の保全と積極的な活用を図り、活力ある地域をつくる。

施策	内容
1. 芸術・文化活動の活性化と環境づくり	<ul style="list-style-type: none">・臨「鏡獅子」の活用・臨平櫛田中美術館特別展「平櫛田中の芸術展」の開催・平櫛田中美術館ワークショップの開催・臨文化協会70周年記念事業の支援・芸術・文化団体の育成・支援・文化祭、各種発表会の開催支援・井原市文学賞の実施・観月会の開催・伝統文化体験教室「和の楽校」の開催支援・文化部活動の地域移行の推進
2. 文化施設の活用	<ul style="list-style-type: none">・平櫛田中美術館での芸術文化の情報発信・市民ギャラリーの利用促進・田中苑、文化財センター、芳井歴史民俗資料館・星の郷民具伝承館、桜溪漢学塾公園の維持管理・市民茶室の維持管理と利用促進

<p>3. 文化財・歴史的資源の保存・活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財センターの活用 <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の整理・保存 歴史資料の整理・保存 体験講座・考古学講座の開催 文化財めぐりの開催 ・文化財センター企画展の開催 ・井原市歴史講座の開催 ・芳井歴史民俗資料館特別展・企画展の開催 ・伝統芸能の保存・継承 ・歴史・文化遺産情報発信事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ホームページ「いばら歴史館」による情報発信 (井原歴史人物伝、指定文化財、伝統芸能、井原昔ばなし)
---------------------------	--

スポーツの力でつくる ひととまち
(スポーツの充実)

施策図



スポーツの力でつくる ひととまち (スポーツの充実)

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足をもたらすものであり、スポーツを楽しみながら適切に継続することで、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康寿命を伸ばすことができる。更に、スポーツは人と人とのふれあいや結びつきを深め、人間関係を豊かなものにするとともに、地域の一体感の醸成や地域社会の活性化にもつながるなど、極めて大きな意義があり、これらの実現を目指すため、井原市スポーツ推進計画（第3期）に基づき、総合的にスポーツの推進を図る。

また、いつでも、だれでも、どこでも、ライフステージに応じてスポーツに親しむことができる環境をつくとともに、市民一人ひとりが年齢や体力等に応じてスポーツに取り組み、スポーツの大切さを再認識し、自主的にスポーツに取り組むきっかけづくりの場を提供する。

競技スポーツでは、井原市スポーツ協会を中心に関係団体が一体となって、若い世代の育成を図るとともに、全体的な競技人口の増加に向けた取組を進める。また、市民にスポーツへの関心を持ってもらうため、ハイレベルな競技に接する機会を創出するとともに、「陸上競技」「新体操」だけでなく、その他の競技におけるレベルアップを図り、井原市の元気を発信する。

施 策	内 容
1 気軽にスポーツに親しむことができる環境づくり (1) 生涯スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の充実 弓道教室、テニス教室、ソフトテニス教室、卓球教室、バドミントン教室、新体操教室、水泳教室、SUP ヨガ教室、海洋クラブ ・いばら生き生きクラブの活動の充実と自立の促進 ソフトバレーボール、弓道、テニス、陸上競技、卓球（昼・夜）、合気道、華道、野球、バウンドテニス、バドミントン、ペタンク、大人の楽トレ 新トランポリン、バレーボール、バドミントン(美星)、吹奏楽（15種目17サークル） 生き生きクラブ会員の交流(ニュースポーツ体験会) ・スポーツ推進委員の活動の充実 地域スポーツ教室等の実施、市民スポーツの日への参画 ・ニュースポーツの普及 ニュースポーツのPR及び備品の貸出

<p>(2) 体力や健康状態にあったスポーツの振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ大会等の実施、充実 市民体育祭の開催 全国健康マラソン井原大会、星の郷ふれあい健康マラソン大会等の開催 ・ グラウンド・ゴルフ場の利用促進 高齢者健康増進施設として高齢者の利用の促進、市外の利用者との交流 ・ 市民スポーツの日の充実 ・ 運動部活動の地域移行の推進
<p>2. 競技スポーツの振興 (1) 井原市スポーツ協会の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種スポーツ大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 《井原体育館・芳井体育館》 バレーボール大会、卓球大会、バドミントン大会、空手道大会、柔道大会、剣道大会、合気道演武会、ソフトバレーボール大会、太極拳体験講習会 《陸上競技場・芳井運動場・美星運動場》 野球大会、陸上選手権大会、サッカー大会、ゲートボール大会、ソフトボール大会 《野球場》 野球大会 《庭球場》 庭球大会 《弓道場》 弓道大会 《グラウンド・ゴルフ場》 グラウンド・ゴルフ大会 《ロード》 市民サイクリング大会、井原市駅伝競走大会 《リフレッシュ公園》 野球大会、ソフトボール大会、サッカー大会 《その他》 市民ゴルフ大会 ・ 競技人口の増加対策 井原市スポーツ協会、各スポーツ協会、スポーツ少年団、グループ等の活動支援 ・ 高レベルの技術に触れる機会の創出 井原カップ男子新体操競技大会、井原新体操フェスティバル、県ハーフマラソン選手権大会、県高校駅伝競

	<p>走大会（男女）、マラソン大会ゲストランナー（全国健康マラソン井原大会）、プロチームによる体験教室（市民スポーツの日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井原市スポーツ協会会長表彰 体育功労者・団体及び優秀選手・団体を表彰・顕彰
<p>（２）スポーツによる元気の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技、新体操のまちづくり 興譲館高校陸上競技部への支援、新体操選手育成強化支援（井原高校、井原ジュニア新体操クラブ、S p a r k l e 井原 R. G） ・大会開催や大会出場への補助 県高校駅伝競走大会、臨中国高校駅伝競走大会、新体操大会、選手派遣 ・講習会の実施 ソフトボール審判講習会、バレーボール審判講習会、軟式野球審判講習会、熱中症対策講座、救急法講習会 スポーツ指導者育成講習会の開催 ・井原市スポーツ表彰 顕功賞、栄誉賞、奨励賞、功労賞 ・文化・スポーツ振興協会との連携 スポーツの普及振興に寄与する事業及び活動を行う団体への助成事業、スポーツ競技に功績をあげた者への激励事業 ・スポーツ施設の整備・充実 競技をする上で必要となる施設・設備の整備・充実

教育施設・設備の整備と機能の充実

教育施設・設備の整備と機能の充実

学校施設関係では、井原市学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設の効率的、かつ計画的な維持管理に取り組むこととし、老朽化が著しい学校校舎の部位改修を進め、施設の長寿命化を図ることとしている。

社会教育施設関係では、利用者の安全性や利便性等に配慮した整備に努める。

施 策	内 容
1. 学校(園)施設・設備の整備 と機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○営繕工事 <ul style="list-style-type: none"> 老朽化対策工事 <ul style="list-style-type: none"> 臨 4 小学校（井原・大江・青野・野上） 臨 1 中学校（芳井） 1 幼稚園（青野） ○新貸出用携帯電話導入
2. 社会教育施設・設備の整備 と機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○星の郷ふれあいセンター <ul style="list-style-type: none"> 臨 自動火災報知設備修繕 臨 看板撤去及び処分 ○公民館 <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨 非常照明取替修繕（西江原公民館） ・ 臨 エアコン取替修繕（共和分館） ・ 臨 ブラインド取替修繕（井原公民館） ○アクティブライフ井原 臨 西面外壁一部防水修繕 ○芳井生涯学習センター 臨 空調設備更新 ○体育施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 井原体育館 <ul style="list-style-type: none"> 臨 自立・分散型エネルギー設備(空調設備)設計業務委託 臨 会議室空調設備更新 ・ リフレッシュ公園 臨 管理棟空調設備更新 ・ 与一記念弓道場 臨 電動シャッター修繕 ・ 芳井運動場 臨 下水道接続工事 ○学校給食センター <ul style="list-style-type: none"> 臨 学校給食美星調理場の給食配送車 1 台の更新 臨 井原・美星給食センター空調設備設計業務委託

〈参考〉教育関係予算の概要

〔基本方針〕

令和6年度(2024年度)は、厳しい財政環境の中にあっても、将来を見据え、だれもが主役で活躍できる、しあわせが実感できる「元気なまちづくり」の実現に向けて、新たな視点・発想や多様な主体との協働により、「井原市第7次総合計画 後期基本計画」及び「井原市第2期総合戦略」に掲げる各種施策を着実に推進するとともに、「次世代へつなぐ財政改革」として「持続可能な財政運営」の確立を図ることを基本に予算編成を行った。

〔特徴〕

「井原市第7次総合計画 後期基本計画」の2年目にあたり、【ひと】・【経済】・【安心】・【夢・誇り】といった重点取組に沿い、「だれもが主役で活躍できる 元気な井原」の実現に向けた各種施策等を着実かつ積極的に展開することとしている。

まず、「ひとづくり」においては、本市の未来を担う「井原“志”民」の育成に向けて、「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」を中心に関連事業を多角的に推進するとともに、これまでの取組をブラッシュアップし、若者に選ばれるまちづくりを推進するため、新たに「地域力創造アドバイザー活用によるブランディング事業」を展開することとしている。

次に、「経済・地場産業活性化」では、高月工業団地において企業用地の造成工事を進めるほか、「元気いばら商工業成長支援事業」の展開による新たな雇用や賑わい創出、「ふるさと納税」を活用した地場産業振興等に取り組むとともに、全国チェーンを展開するホテル事業者が市内にホテルを建設するにあたり、今後の交流人口の拡大や滞在時間の増加による地域活性化を期待して、「宿泊施設（ホテル・旅館）整備促進事業補助金」による支援を行うこととしている。

また、「安心して生活できる環境づくり」としては、引き続き、本市独自の「保育料等無償化事業」、「子ども医療費無償化事業」を展開し、新たに、急な病気やけがに関する電話相談に対して助言等を行う「救急相談センター事業」を実施するほか、災害時の拠点施設として本庁舎の業務継続性を確保するため、「本庁舎非常用発電装置の更新」を行うこととしている。

そして、「夢や誇りがもてる魅力創出」に向けては、「星空保護区」を活かした官民一体での取組の推進や、リニューアルした平櫛田中美術館での「平櫛田中回顧展」の開催などにより、全国へ魅力を発信するとともに、郷土愛の醸成を図ることとしている。

その結果、一般会計予算額は、218億2,800万円となり、前年度当初比8億3,504万8千円、4.0%増となっている。

[歳入]

自主財源の大宗を占める市税については、コロナ禍から社会経済活動の正常化は進んでいるものの、エネルギー価格高騰等の影響により法人市民税は依然として回復傾向になく、地価の下落や評価替え等の影響により固定資産税も減収が見込まれる中、令和6年度税制大綱に係る定額減税の影響もあり、市税全体で前年度当初比約3億円減の42億4,546万5千円を計上している。そのうち、定額減税による減収分については、地方特例交付金で補てんされることとなっており、約2億5千万円を見込んでいる。また、ふるさと納税寄附額の増加に伴い、ふるさと応援基金繰入金について、同じく約9千万円増の3億5,591万6千円を計上している。

一方、依存財源のうち地方交付税は、国の地方財政計画等に基づき前年度当初比で1億7千万円増の77億5千万円を見込んでいる。また、市債については、地方交付税の不足を補う臨時財政対策債について国の地方債計画に基づき半減を見込んでいるが、岡山県西部衛生施設組合への廃棄物処理施設整備費負担事業債の大幅な増加等により、市債全体で、前年度当初比約2億7千万円増の14億9,900万円を計上している。

なお、収支の均衡を図るため、財政調整基金から12億2,700万円の繰り入れを行うこととしており、その結果、自主財源は75億7,730万7千円（構成比34.7%）、依存財源は、142億5,069万3千円（構成比65.3%）となっている。

[歳出]

教育関係では、本市独自の取組である「ひとつづくりのまち井原」のさらなる推進に向けて、外部関係機関等とのつながりを深め、地域総ぐるみで、本市の未来を担う「井原“志”民」の育成を図ることとしており、本市の「ひとつづくり」の基幹施策である「ふるさと井原の未来を創るひとつづくり事業」を中心に、これまでの取組をブラッシュアップし、若者に選ばれるまちづくりを推進するため、新たに「地域力創造アドバイザー活用によるブランディング事業」を展開することとしている。また、学校教育においては、子ども一人ひとりの学力の育成を図るため、引き続き、「いばらっ子伸びる学力支援事業」等を実施するとともに、「学習支援員」、「教師業務アシスタント」、「学校ICT支援員」を全校に配置するほか、教科書の改訂に合わせ、デジタル教科書の更新を行うこととしている。また、学校教育施設では、「学校施設長寿命化事業」を計画的に進め、老朽化が進む校舎等の屋上防水改修を実施することとしている。文化・スポーツの振興においては、リニューアルオープンした「平櫛田中美術館」で初めてとなる平櫛田中の回顧展「平櫛田中の芸術展」を開催し、里帰りをしている「鏡獅子」も含め、代表的な作品を全館で展示するほか、「井原体育館空調設備」の整備に向けた実施設計を行うこととしている。

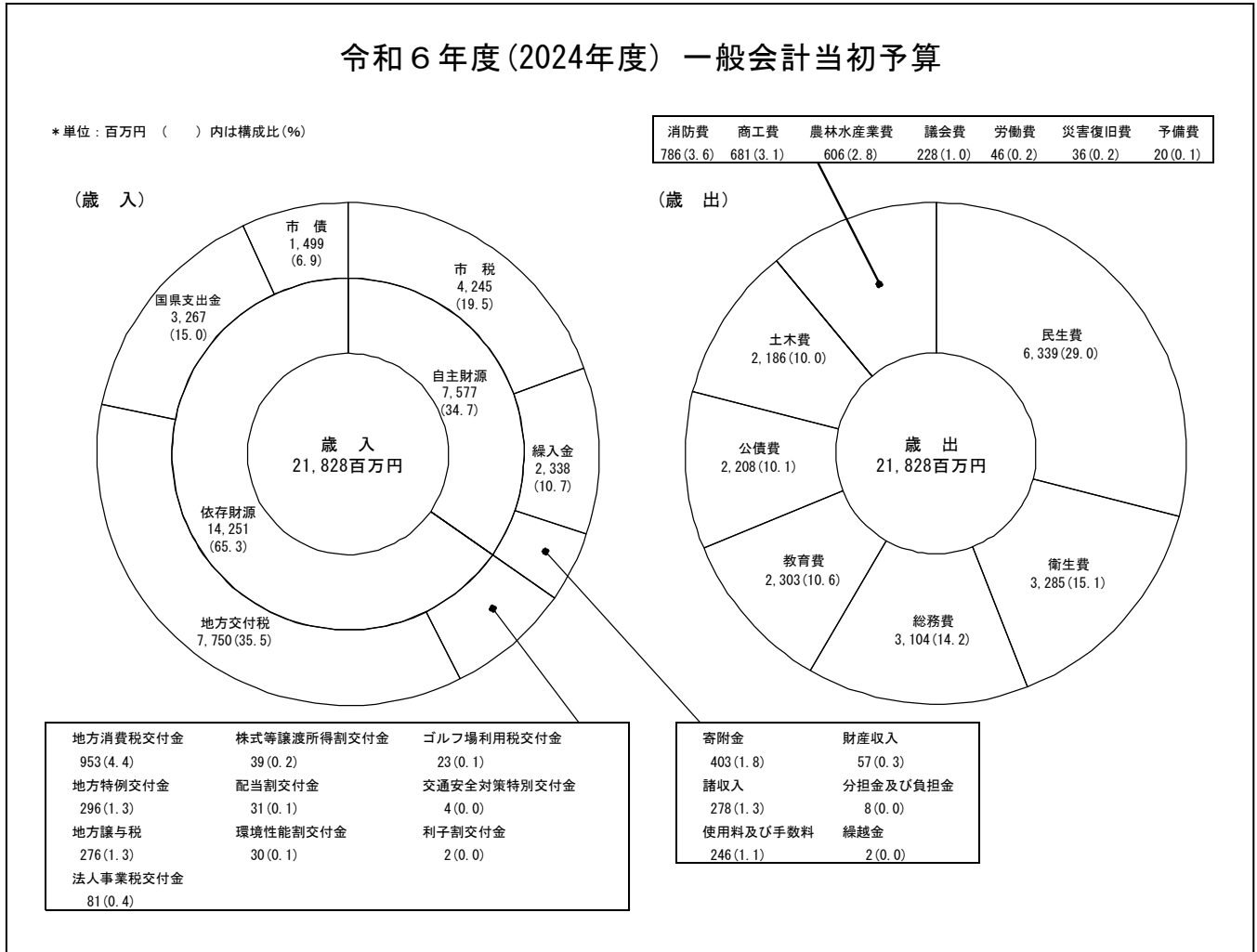
◎令和6年度井原市一般会計当初予算の状況

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	差引増減	対前年比
予 算 総 額	21,828,000	20,992,952	835,048	104.0%
教育費予算額	2,303,268	2,246,072	57,196	102.5%

◎令和6年度井原市一般会計当初予算の構成

令和6年度当初予算総額に占める教育費の割合10.6% (前年10.7%)



◎教育費の項別 予算状況

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	差引増減	対前年比
教育総務費	395,087	384,377	10,710	102.8%
小学校費	291,939	380,476	▲88,537	76.7%
中学校費	133,743	148,780	▲15,037	89.9%
高等学校費	34,016	37,527	▲3,511	90.6%
幼稚園費	411,991	379,419	32,572	108.6%
社会教育費	633,603	573,355	60,248	110.5%
保健体育費	402,889	342,138	60,751	117.8%
計	2,303,268	2,246,072	57,196	102.5%

児童生徒数(見込)

令和6年4月1日見込

	1年				2年				3年				4年				5年				6年				合計				幼稚園							
	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	男	女	計	学級	3歳児	4歳児	5歳児	計	学級			
小学校	高屋	12	7	19	1	15	16	31	1	12	11	23	1	12	15	27	1	16	12	28	1	10	19	29	1	77	80	157	9	4	1	5	10	2		
	大江	4	3	7	1	6	3	9	1	6	5	11	1	5	4	9	1	6	10	16	1	10	9	19	1	37	34	71	7	2	5	2	9	2		
	稲倉	2	1	3	1	5	0	5		4	2	6	1	4	4	8		3	4	7	1	5	4	9		23	15	38	5							
	県主	4	5	9	1	1	0	1		4	1	5	1	5	3	8		6	2	8	1	2	2	4		22	13	35	4	2	3	1	6	1		
	木之子	8	8	16	1	4	8	12	1	13	8	21	1	8	10	18	1	10	5	15	1	12	9	21	1	55	48	103	7	2	2	2	6	2		
	荏原	4	1	5	1	3	5	8	1	4	7	11	1	2	6	8	1	4	11	15	1	3	9	12	1	20	39	59	8	4	2	2	8	2		
	西江原	18	14	32	1	17	21	38	2	17	18	35	1	19	16	35	1	15	19	34	1	23	20	43	2	109	108	217	10	5	2	3	10	3		
	野上	0	1	1	1	1	2	3		0	1	1	1	4	1	5		3	1	4	1	1	2	3		9	8	17	4	0	0	1	1	1		
	青野	2	2	4	1	1	0	1		2	0	2	1	3	3	6		2	1	3	1	3	4	7		13	10	23	3	2	1	4	7	2		
	井原	11	14	25	1	12	12	24	1	14	9	23	1	9	11	20	1	19	16	35	1	9	17	26	1	74	79	153	8	4	10	5	19	3		
	出部	37	35	72	2	37	33	70	2	28	27	55	2	31	27	58	2	29	27	56	2	34	24	58	2	196	173	369	15	14	15	20	49	3		
	美星	7	2	9	1	8	4	12	1	9	5	14	1	9	3	12	1	6	6	12	1	8	7	15	1	47	27	74	8	8	6	5	19	3		
	芳井	9	5	14	1	14	15	29	1	11	6	17	1	7	9	16	1	13	12	25	1	11	12	23	1	65	59	124	8	2	2	5	9	2		
計	118	98	216	14	124	119	243	11	124	100	224	14	118	112	230	10	132	126	258	14	131	138	269	11	747	693	1,440	96	49	49	55	153	26			
中学校	高屋	18	28	46	2	19	29	48	2	25	22	47	2											62	79	141	8	小学校 児童数 合計 1,440								
	木之子	24	27	51	2	42	17	59	2	27	29	56	2											93	73	166	9	中学校 生徒数 合計 834								
	井原	62	71	133	4	52	64	116	4	78	55	133	4											192	190	382	15	幼稚園 園児数 合計 153								
	美星	8	7	15	1	9	9	18	1	13	8	21	1											30	24	54	5	市立高校生徒数 合計 115								
	芳井	17	11	28	1	21	11	32	1	16	15	31	1											54	37	91	4									
	計	129	144	273	10	143	130	273	10	159	129	288	10											431	403	834	41									
高等学校	昼間	18	18	36	1	12	8	20	1	8	7	15	1	15	14	29	1											53	47	100	4	児童生徒数等 総計 2,542				
	夜間	2	2	4	1	1	2	3	1	2	3	5	1	2	1	3	1											7	8	15	4					
	計	20	20	40	2	13	10	23	2	10	10	20	2	17	15	32	2											60	55	115	8					